

2024年秋期(第175回)講演大会記録

2024年秋期講演大会は、9月18日(水)から20日(金)の期間、大阪大学豊中キャンパスにおいて開催した。また、9月25日(水)にオンラインで高校生・高専学生ポスターセッションを開催した。

- 9月18日(水) 9:00~9:40 開会の辞, 各賞贈呈式(大阪大学 大学会館講堂)
12:00~17:30 ポスターセッション, 高校生・高専学生ポスターセッション
10:00~17:35 各種シンポジウム講演, 共同セッション(全学教育推進機構 9会場)
18:30~20:30 懇親会(千里阪急ホテル)
- 9月19日(木) 9:00~18:00 一般講演, 各種シンポジウム講演, 各賞受賞講演, 共同セッション, 国際シンポジウム(全学教育推進機構 18会場)
12:10~12:50 第18回企業ランチョンセミナー(3会場)
- 9月20日(金) 9:00~17:15 一般講演, 各種シンポジウム講演, 各賞受賞講演(全学教育推進機構 18会場)
- 9月18日~9月20日 総合受付(全学教育推進機構講義A棟 1階)
付設機器・カタログ展示会(全学教育推進機構講義B棟 1階)
- 9月25日(水) 13:30~17:00 高校生・高専学生ポスターセッション(オンライン)

開会の辞(9月18日)

中野貴由実行委員長より挨拶があり, 続いて榎学会長より開会の挨拶があった。

贈呈式(9月18日)

榎学会長の式辞に続き, 下記の贈呈式を行った。

- 第21回村上記念賞贈呈式 1名に対し賞状, 賞牌ならびに賞金贈呈。(受賞者; 本誌11号753頁)
- 第21回村上奨励賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞金贈呈。(受賞者; 本誌11号753頁)
- 第34回奨励賞贈呈式 7名(学術部門6名, 技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌11号754頁)
- 第47回技術開発賞贈呈式 1件10名に対し賞状ならびに楯贈呈。(受賞者; 本誌11号755頁)
- 第4回新進論文賞贈呈式 6編6名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌11号756頁)
- 第14回まてりあ賞 3編13名(まてりあ論文賞2編, まてりあ啓発・教育賞1編)に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌11号758頁)
- 第3回特別功労賞贈呈式 1名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌11号759頁)



~受賞者の皆様, おめでとうございます~

日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会(9月20日)

日時: 9月18日(水)18時30分~20時30分

場所: 千里阪急ホテル「仙寿」

(〒560-0082 豊中市新千里東町2-1)

参加者: 233名(本会への申込者・招待者161名)

- 開会の辞・司会 大阪大学教授 安田弘行
大会実行委員長挨拶 大阪大学教授 中野貴由
来賓挨拶 大阪大学総長 西尾章治郎
日本金属学会会長挨拶 東京大学教授 榎 学
日本鉄鋼協会会長挨拶・乾杯 日本製鉄(株)代表取締役社長 福田和久
懇談
閉会の辞 大阪大学統括理事・副学長 田中敏宏



中野大会実行委員長のご挨拶



西尾章治郎 大阪大学総長のご挨拶

大会参加者

1,772名(事前: 1,569名, 後期(当日): 140名, 相互聴講: 63名)

- 有料申込数1,626名

正員672名, 学生員666名, 非会員一般112名, 非会員学生45名, 維持員会員社員59名, 協賛学協会(鉄鋼協会)会員9名
• 無料参加者数146名
受賞講演者・非会員基調講演・招待講演者・国際シンポジウム講演者53名, 高校生ポスター参加者21件, 65歳以上会員・名誉員72名

学術講演会(9月18日~20日)

最終講演件数1,055件

欠講7件(講演番号: 一般講演 No. 233, No. 234 公募シンポジウム S1.10 国際シンポジウム IS7 共同セッション J14 ポスターセッション P16, P170)
公募シンポジウム講演9 テーマ207題(奨励賞受賞講演2題, 村上奨励賞受賞講演1題, 基調講演44題含む)
企画シンポジウム5 テーマ 26題
国際シンポジウム10題
一般講演449題(奨励賞受賞講演4題, 技術開発賞受賞講演1題, 村上記念賞受賞講演1題, 村上奨励賞受賞講演2題, 招待講演2件含む)
共同セッション2 テーマ29題
ポスターセッション317題
高校生ポスター 17題
講演会場 18会場(A~R 会場)

第43回ポスターセッション(9月18日)

日時: 9月18日(水) 12:00~17:30

第1部 12:00~13:30

第2部 14:00~15:30

第3部 16:00~17:30

場所: 大阪大学豊中キャンパス大学会館, サイエンスコモンズ(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1)

過去最多の317件のポスター発表が3部制で行われた。会期が3日間となり初日午後の開催となりシンポジウム講演と併催であったが, 大変多くの聴講者が来場し, ポスターセッション会場はいつもながら大変盛況であった。

優秀ポスター賞は今回から1次審査と2次審査の2段階審査で行われ, 審査対象となっている278件を審査した。審査の結果優秀ポスター賞の受賞者42名を決定し, 9月20日に受賞者を現地総合受付および本会講演大会ホームページで発表した。

(第43回優秀ポスター賞受賞者: 本誌11号760頁)

第12回高校生ポスターセッション(9月18日および9月25日)

日時・開催形態:

9月18日(水) 12:00~17:30

場所: 大阪大学豊中キャンパス(アッセンブリーホール, サイエンスコモンズ)

第1部 12:00~13:30

第2部 14:00~15:30

第3部 16:00~17:30

9月25日(水) 13:30~17:00

場所: オンライン 第1部 13:30~14:30

第2部 16:00~17:00

発表者が現地発表とオンライン発表のいずれかを選択し, 現地発表12件, オンライン発表5件の合計17件の高校生・高専学生(3年生以下)ポスター発表および審査を行った。審査結果は9月26日に講演大会ホームページにて発表し, 日本金属学会長賞1件, 最優秀賞1件, 優秀賞8件を授賞した。(63巻12号に掲載)

現地発表は第43回ポスターセッションと同じ会場で行い, オンライン発表では事前に発表者から提出されたポスター画像をポスター掲示システム上に掲載し, Zoom ミーティング上で発表した。いずれの発表も熱心に取り組んだ研究を発表していた。発表した生徒は大学教員等からアドバイスを受け, 今後の研究の参考や励みになると喜んでいて, 現地発表では発表者が通常のポスター発表や他校の高校生ポスター発表を聴講する姿があり, 発表者の意識の高さを感じられた。また, 今回も指導教員交流会(14:45~15:45オンライン)を実施し, 参加の感想や要望の聴取等の情報交換を行った。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」21題(金属15題, 鉄鋼6題)は9月19日に金属学会C会場で開催した。

「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」27題(金属14題, 鉄鋼13題)は9月18日, 19日に金属会場Q会場で開催した。

国際シンポジウム

第3回国際シンポジウムを講演大会の2日目に, 「Advanced science and technology in magnesium and magnesium alloys」のテーマで, ハイブリッド形式で開催した。

日本から2名, 韓国から2名, インドから2名, インドネシアから1名, オーストラリアから2名, 台湾から1名の計10名の講演が行われた。国内外からのオンライン聴講者(6名)を含めて, 聴講者数は最大で40名程度であった。また, 国際シンポジウム終了後に, 講演者の懇親会を開催し, 交流を深めることができた。



~国際シンポジウム講演者の皆さん~

付設機器・カタログ等展示会(第50回)

機器展示18社の出展の協力を得た。各社のご厚意に感謝いたします。

常時開設 オンライン機器展示会

第18回企業ランチョンセミナー(9月19日)

昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら, 講演大会参加者

に最新の技術情報を聴講いただく、ランチョンセミナーを開催し、以下の企業が30分程度のセミナーを行った。

9/19(木)

- オックスフォード・インストゥルメンツ(株)：参加者36名
- 日本電子(株)：参加者40名
- 物質・材料研究機構：参加者46名

学生キャリアサポート企業展示

企業が学生会員に向けて、会社概要、今後の採用情報、インターンシップ募集情報、研究開発動向等を紹介する企業展示を実施した。

- (株)豊田中央研究所
- 石福金属興業(株)
- (株)大阪チタニウムテクノロジーズ
- 福田金属箔粉工業(株)
- 大和工業(株)
- 合同製鉄(株)
- 日本軽金属(株)
- 産業技術総合研究所

託児室

9月18日(水)～20日(金)に託児室を開設した。
利用者数
9月18日 5名、9月19日 7名、9月20日 6名
利用人数に応じてシッター3～4名体制で実施した。

第14回男女共同参画「女性会員の集い」(9月20日)

女性会員が昼休みの時間に集い交流・人脈作り・キャリアデザイン・職場の環境や人間関係で困ったこと等の意見交換を行う集いが開催された。参加者13名



～和気あいあいと～

第22回 World Materials Day Award

材料系国際学協会連携組織である IOMMMS (International Organization of Materials, Metals and Minerals Societies) では、World Materials Day を制定し、11月の第一水曜日に世界同時に、「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰している。今回は作品の応募がなく実施しなかった。

大会雑記

大阪大学豊中キャンパスでの講演大会は8年ぶり2回目の開催であった。今秋期講演大会から会期を3日間に戻しての開催となった。

9月18日のポスターセッションは過去最多の講演発表となり、2会場3部制で開催された。シンポジウム講演と併催であったが、大変多くの来場があり熱気に溢れていた。

講演は全学教育推進機構講義 A 棟および B 棟の18会場で開催した。共に開催した日本鉄鋼協会の会場は全学教育推進機構講義 C 棟での開催で隣接していたため、双方を行き来される参加者には便利であった。会期中は残暑大変厳しい天候でしたが、参加者の皆様におかれましてはご来場いただきましてありがとうございました。

懇親会は、「千里阪急ホテル」で開催した。近年減少傾向だった懇親会参加者は200名を超え、歓談で盛り上がりながら盛会裡に終了した。

大阪大学での日本金属学会講演大会開催に当たって、中野貴由委員長をはじめとして、安田弘行先生、土谷博昭先生、森浩亮先生の他、多くの実行委員の皆様には準備開始より長期にわたり大変なご尽力とご配慮をいただき、そのおかげで大会を盛会裡に運営することができました。お忙しい中を本会のために長期間を割き、諸般について万端のご協力をいただいた実行委員やアルバイト学生の皆様、大学関係者各位に、衷心より厚くお礼申し上げます。

